

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年 3月 1日

事業所名 放課後等デイサービス マザーズ四十万

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			活動ごとに空間を分けている。 折りたたみテーブルで使用する時以外は収納しなるべく広くスペースを使用できるようにしている。	
	2	職員の配置数は適切である	○			人員配置について法令遵守に則り運営している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		玄関等の段差はあるが、カーペットのめくれ等は修繕したり、視覚表示をするなどして可能な限りバリアフリー化している。	カーペットのめくれ等あ新しい物に替え、安全に配慮する。必要に応じて段差の改善など検討していく。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			朝礼・終礼にて話し合い、パート社員にも共有している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			全社員が把握し業務改善に繋げている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		今後実施を検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			年間計画を立て、研修を実施したり、毎日勉強会を行ったりしている。午後から出勤するパート社員にも研修資料を共有している。	今後も研修を計画的に実施、また、必要に応じて会議等の時間に研修を実施していく。
適切 な支 援の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			契約時や個別支援計画更新の面談の際に実施している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している			○	アセスメント時に病院等での結果を可能であれば共有していただき、参考にしている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			全事業所の担当者が会議に参加し、立案、実施、改善を行っている。	

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年 3月 1日

事業所名 放課後等デイサービス マザーズ四十万

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			繰り返し行う活動の中でも反省を踏まえてプログラムを改善し、実施している。	個々の発達段階等に合わせた手順を加減するなどして一人ひとりに合わせたプログラムを実施していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			長期休暇には、平日行うことが難しい地域交流や外出等の活動も取り入れている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			毎日、朝礼で職員に共有し、パート社員にも出勤時に共有している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			終礼時また、翌朝礼時に振り返り、共有を行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			自社開発アプリを使用して、利用児童一人ひとり記録を取っている。記録の一部は保護者とも共有している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			ガイドラインに基づきプログラムを作成している。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			児童発達支援管理責任者が参加している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○				現在は受け入れの実績はないが、必要に応じて実施していく。

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年 3月 1日

事業所名 放課後等デイサービス マザーズ四十万

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等と の間で情報共有と相互理解に努めている	○				今後必要に応じて実施して いく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事 業所から障害福祉サービス事業所等へ移 行する場合、それまでの支援内容等の情 報を提供する等している	○				必要に応じて実施してい く。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や 研修を受けている	○			研修に代表者が出席し社員に共有し ている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、 障がいのない子どもと活動する機会があ る	○			長期休暇に児童館へ出かけたり、 チャレラン大会等のイベントを開催 し交流する機会を作っている。	
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参 加している	○			代表者が連絡会に参加し、社員に共 有している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について 共通理解を持っている	○			送迎時のやり取りや連絡帳アプリを 通じて情報共有を行っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニン グ等の支援を行っている	○			定期的に茶話会を開催し、相談援助 を行ったり、保護者のニーズに沿っ た情報を提供したりしている。	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	○			契約時、丁寧に説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を 行っている	○			送迎時等に保護者から相談があれば 応じ、その場で返答できない事や職 員間で共有すべきことは持ち帰り対 応したり報告したりしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会 等を開催する等により、保護者同士の連 携を支援している	○			茶話会等を開催し、保護者同士のつ ながりを持つことができる機会を 作っている。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対 応の体制を整備するとともに、子どもや 保護者に周知し、苦情があった場合に迅 速かつ適切に対応している	○			玄関に意見箱を設置している。ま た、苦情があった場合には共有し迅 速に対応している。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年 3月 1日

事業所名 放課後等デイサービス マザーズ四十万

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			新聞や予定表を作り配布したり、ブログやインスタなどでも発信している。	
	35 個人情報に十分注意している	○			個人情報に係る同意書にサインをいただき、個人情報に関する書類は全て鍵付きキャビネットで保管している。	
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			花植え等、地域の方が一緒に活動できる内容を決定し、交流に繋がったり、地域の児童と関わることができるよう開かれたイベントを開催したりしている。	
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			職員は定期的に読み合わせを行い、保護者には契約時にマニュアルを配布し周知している。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			年間計画を立て、火災・水害・地震・不審者対応の訓練を行っている。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待防止委員会を設置し、社内研修を行っている。また、県や市が開催する研修に代表者が参加し、伝達研修を行っている。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○				今後必要に応じて、組織的に決定し適切な手順で行う。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○				現在、アレルギーへの対応が必要な児童は在籍していないが、今後必要に応じて実施していく。
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○					